

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	希望の旅事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	保健福祉部	課等名	福祉課		包含する細々目	1	3	1	3	22	4	270
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり											
施策	34 障害者福祉の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要						
		事業期間	4	年度～	年度							
						関連計画 長野県障害者プラン 飯田市障害者プラン 条例等						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	在宅の重度の身体障害者又は知的障害者	在宅の重度心身障害者概算数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
				3800	3800		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	積極的に社会参加をしてもらう。	希望の旅参加者数 / 在宅の重度心身障害者概算数(%)	18目標	9	最終目標	9	
			18実績	9	19目標	9	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
18実績				19目標		↑	
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	県が、在宅の障害者の社会参加を目的に実施している事業で、飯田市も単独で補助している事業。 障害者の社会参加を目的に、障害者団体が実施している「希望の旅」事業を補助。	飯田市社会福祉協議会を通じて補助金を交付。県からの通知により、障害者の新たなニーズに対応した事業の構築を図るため、平成20年度以降の当該事業の実施について、廃止を含め見直すこととなった。 飯田市社会福祉協議会と共に検討し、20年度からは廃止の方向とする。	参加者数(人)	320
	18年度の実績	同上	参加者数(人)	330
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	400	270
事業費計(A)	400	270	
人件費	正規職員所要時間	18年度 30	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	107	0
	トータルコストA+B	507	270

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	安心して地域で日常生活が送られる。	安心して地域で日常生活が送れている割合	現状値	68	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	68
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
障害者は障害があるために、個人・家族・地域の旅行が困難な時代があった。 障害者団体が主催し、行政等がバックアップして、障害者が参加しやすい旅行が実施されるようになった。	身体障害や知的障害者ともに、障害者の希望に合わせた企画が立てられ、重度の障害者も参加できるようになってきている。	

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由) 旅行に行く機会が少ない障害者にとっては、貴重な社会参加の機会である。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由) 実施の内容を見直すことにより、充実した事業が可能となる。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由) 同じ人の参加がほとんどであり、参加人数も減のため事業の見直しが必要。		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) 社会参加の機会の少ない障害者の社会参加の機会が失われることが予想される。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 障害者が社会参加したいというニーズは変わらないため変更の必要性はない。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由) 障害者への支援としては、市の関与は必要だ。		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由) 事業実施の方法を検討することにより、費用削減の可能性はある。
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当でない (受益者とその理由) 参加者負担金があるが、妥当かどうか検討が必要。

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	障害者の要望を含め事業の内容や廃止も含めて検討する。  上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	